



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

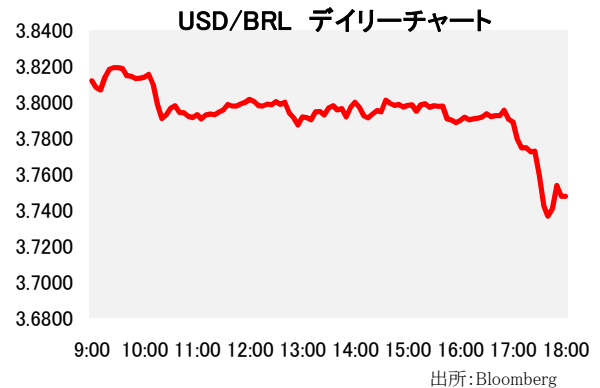
1. マーケット・レート

			11月4日	11月5日	11月6日	11月9日	11月10日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7990	3.7800	3.7680	3.7990	3.7470	-0.0520
	BRL/JPY	Spot	31.99	32.19	32.68	32.40	32.88	+0.48
	EUR/USD	Spot	1.0858	1.0885	1.0743	1.0758	1.0710	-0.0048
	USD/JPY	Spot	121.54	121.68	123.21	123.10	123.24	+0.14
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.765	14.787	14.788	14.811	14.859	+0.047
	Future	1Year(p.a.)	15.275	15.293	15.318	15.468	15.497	+0.029
	On-shore USD	6MTH(p.a.)	2.873	3.025	3.096	3.274	3.238	-0.036
		1Year(p.a.)	3.636	3.709	3.830	4.051	4.062	+0.011
株式	Bovespa指数		47,710	48,047	46,919	46,195	46,207	12
CDS	CDS Brazil 5y		391.58	398.16	405.06	422.10	410.04	-12.06
商品	CRB指数		194.134	192.435	191.034	189.223	189.416	+0.19

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

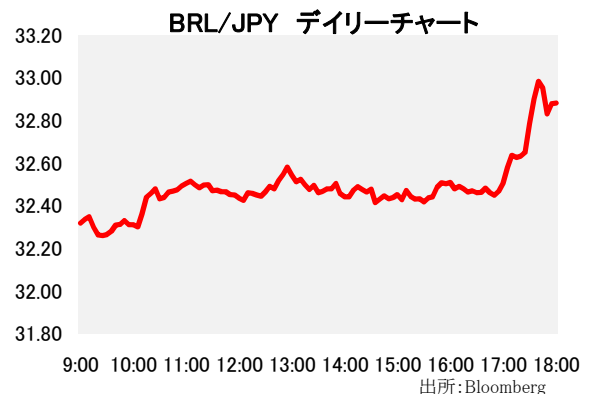
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.86%	0.90%	0.88%
IGP-M Inflation 1st Preview	1.21%	1.31%	1.64%
(米)NFIB中小企業楽観指数	96.4	96.1	96.1
(米)輸入物価指数(前月比)	-0.1%	-0.5%	-0.6%
(米)卸売在庫(前月比)	0.1%	0.5%	0.3%



3. 要人コメント

ルセフ伯大統領	我々は政府支出削減を続けて行くが、重要な社会保障システムは継続し、低所得者層に対する保障は続けて行く。
---------	---



4. トピックス

- 本日のレアルは3.8000で寄り付いた。国際商品市況の下落を嫌気し、ボベスパ指数が寄り付きから売られると、レアルも売られて本日の安値となる3.8240をつけた。しかし、伯中銀仲値公表にかけはレアル買いが優勢で、3.78台まで買い戻されるとその後は3.79を挟んでのレンジ相場となった。夕方には前中銀総裁のメイレス氏がレヴィ財務相と交代する可能性があるとの見方が広まり、財政改革進展への期待感からレアルが急騰し、本日の高値となる3.7350をつけた。引けにかけてレアルは小反落して結局3.7470でクローズした。
- 報道によれば、メイレス前伯中銀総裁は政府要人と会合し経済シナリオについて合議を行っている模様。この報道を受けて市場ではレヴィ財務相と近い将来交代する可能性があるとの見方が広まった。メイレス氏はルーラ前大統領時代に7年間で中銀総裁を務め、依然として政局に大きな影響力を持つルーラ元大統領と近い。ブラジルの格付けを投資不適格級から投資適格級に上がって行った時代の功労者でもあることから、財政改革の進展への期待が高まりレアルが急反発した。
- FRBによる年内利上げ期待が高まる一方、ECBは追加緩和を検討していることを受けてドルが対ユーロで1.06台後半まで上昇。4月以来6ヶ月ぶりの水準をつけている。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。